

平成21年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	専修学校と高等学校の連携による教育連携事業「ワーキングスタディ」		
法人名	社団法人 宮崎県専修学校各種学校連合会		
学校名			
代表者	会長 川越 宏樹	担当者 連絡先	事務局長 本部 殷國 Tel 0985-29-5288
1. 事業の概要等			
<p>○経緯・背景</p> <p>本事業は、宮崎県の専修学校が、職業教育記念の日事業として過去4年間実施していた「ヤングジョブリーグ」の実績を基に、加盟校の実習施設や、職業体験学習を集約し実施する事業である。また、事業プラン立案にあたっては、平成20年度に宮崎県私立学校活性化研究調査事業として実施した「宮崎県専修学校各種学校活性化検討委員会」による報告を基に検討をし、宮崎県専修学校各種学校連合会のみならず、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎県学校長協会、宮崎県私立中学高等学校長会、宮崎県高等学校進路指導協議会の連携を図りながら、実施することとなった。</p> <p>○特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の基本構成は下記のとおり <ol style="list-style-type: none"> 1. 夏季休暇プログラム 加盟校の実習施設を利用した職業体験プログラム(開催期間2日間以上、10時間以上の内キャリアパスの時間を1時間組み込む) 2. 分野別出張講座プログラム 高等学校内で実施できる職業体験プログラム(各分野のキャリアパス1時間、体験型実習2時間以上) 3. 秋冬体験プログラム 夏季休暇プログラムに順ずる内容 <p>○事業の実施</p> <p>事業の実施に当たっての役割分担は、(社)宮崎県専修学校各種学校連合会、宮崎県県民政策部文化文教・国際課、宮崎県教育委員会、宮崎県立学校長会、宮崎県私立中学高等学校長会、宮崎県高等学校進路指導協議会とで実施委員会を組織し、その下に(社)宮崎県専修学校各種学校連合会加盟校で組織する作業委員会を配置した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実施委員会構成 			
氏名	所 属		役 割
川越 宏樹	(社)宮崎県専修学校各種学校連合会会長		委員長
井手脇 万詔	(社)宮崎県専修学校各種学校連合会副会長		副委員長
中村 レイ	(社)宮崎県専修学校各種学校連合会副会長		副委員長

常盤 真知子	(社)宮崎県専修学校各種学校連合会理事	委員
黒木 義寛	(社)宮崎県専修学校各種学校連合会理事	委員
片寄 美佐子	(社)宮崎県専修学校各種学校連合会理事	委員
殿所 大明	宮崎県県民政策部文化文教・国際課	委員
矢田 憲太朗	宮崎県教育委員会	委員
久保 良一	宮崎県立学校長会	委員
志垣 澄幸	宮崎県私立中学高等学校長会	委員
大重 順一	宮崎県高等学校進路指導協議会	委員
本部 殷國	(社)宮崎県専修学校各種学校連合会事務局長	委員

2. 作業委員会

氏名	所属	役割
坂元 祥彦	宮崎ペットワールド専門学校	コーディネーター
栗山 重隆	大原簿記公務員専門学校	オブザーバー
宮元 信一	宮崎ユニバーサル・カレッジ	企画運営委員長
岩村 聡志	宮崎情報ビジネス専門学校	企画運営副委員
下徳 雅人	宮崎医療福祉専門学校	企画運営委員
塩川 明美	宮崎レディスカレッジ	企画運営委員
坂田 美幸	宮崎福祉医療カレッジ	企画運営委員
那須 真寿美	エクセレント・アソシエーション	企画運営委員
志和地 知子	都城調理師高等専修学校	企画運営委員
中村 孝人	宮崎和裁学院	企画運営委員
長友 弘文	大原簿記公務員専門学校	広報委員長
川越 宏則	宮崎サザンビューティ美容専門学校	広報副委員長
井手脇 文矢	宮崎マルチメディア専門学校	広報委員
加藤 正明	宮崎医療管理専門学校	広報委員
長友 真二	都城コアカレッジ	広報委員
藤生 真紀子	宮崎調理製菓専門学校	広報委員
吉松 管太	宮崎保健福祉専門学校	広報委員
山本 剛	宮崎スポーツトレーナー学院	広報委員
小八重 綾子	宮崎サザンビューティ美容専門学校	広報委員

○事業の概要

開設講座数

1. 夏季休暇プログラム 31講座
2. 分野別出張講座プログラム 33講座
3. 秋冬体験プログラム 29講座

参加専修学校数

1. 夏季休暇プログラム 13校
2. 分野別出張講座プログラム 15校
3. 秋冬体験プログラム 13校

参加高等学校数

1. 夏季休暇プログラム 10校
2. 分野別出張講座プログラム 5校
3. 秋冬体験プログラム 25校

受講者数

1. 夏季休暇プログラム 44名
2. 分野別出張講座プログラム 1,057名
3. 秋冬体験プログラム 359名

開催時期

1. 夏季休暇プログラム 平成21年7月27日～8月28日
2. 分野別出張講座プログラム 平成21年7月～平成22年3月
3. 秋冬体験プログラム 平成21年10月17日～平成22年2月

2. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座の実施

1. 夏季休暇プログラム講座一覧

分野	講座名	人数	実施校
ITデザイン	WEBクリエイターの仕事を知ろう	1	宮崎マルチメディア専門学校
ロボット	ロボットカーを思い通りに動かそう	1	都城コアカレッジ
エステ・ネイル・メイク	あなたのすべて・・・美しく	5	宮崎サザンビューティ美容専門学校
観光ホテルブライダル	旅行・ブライダルの仕事を学ぶ	5	宮崎情報ビジネス専門学校
簿記・経理	日商簿記2級対策講座	11	大原簿記公務員専門学校
動物	トリマーとはどんな仕事か 動物飼育・インストラクターとは	21	宮崎ペットワールド専門学校

2. 分野別出張講座プログラム講座一覧

講座名	内容	人数	実施校
コンピュータ・旅行・ブライダルのお仕事	ネットワークの基本を勉強しよう 旅行・ホテル・ブライダルの仕事理解	3	宮崎情報ビジネス専門学校
医療事務のお仕事	医療事務体験	4	都城コアカレッジ
看護師のお仕事	看護体験	6	宮崎医療福祉専門学校
リハビリのお仕事	理学療法体験	10	宮崎医療福祉専門学校
介護のお仕事・	介護福祉士体験	16	宮崎保健福祉専門学校
作業療法士のお仕事	作業療法士体験	1	宮崎保健福祉専門学校
社会福祉士のお仕事	社会福祉士体験	8	宮崎医療管理専門学校
介護のお仕事	介護体験	3	宮崎医療管理専門学校
子どもと接するお仕事	保育士体験	32	宮崎医療管理専門学校
医療事務のお仕事	医療情報管理のお仕事	2	宮崎医療管理専門学校
美容に関するお仕事	髪の悩みQ&A	37	宮崎サザンビューティ美容専門学校
美容に関するお仕事	美容師ってどんな仕事	19	宮崎レディスカレッジ
ファッションに関するお仕事	オリジナルTシャツ作り	29	エクセレント・アソシエーション
動物のお仕事	ドッグトレーニング・グルーミング体験	31	宮崎ペットワールド専門学校
食の達人	チャーハン作り、マジパン細工	44	宮崎調理製菓専門学校
自動車整備士のお仕事	目指せ「自動車整備士」体験	23	宮崎ユニバーサル・カレッジ
公務員のお仕事	公務員の仕事解説と適性試験体験	12	大原簿記公務員専門学校
CGクリエイターの仕事って何？	コンピュータグラフィック映像の裏側を体験！	15	宮崎マルチメディア専門学校

講座名	内容	人数	実施校
美容に関するお仕事	ネイルアートの体験	80	宮崎レディスカレッジ
コンピュータに関するお仕事	簡易ロボットのプログラミング体験	65	都城コアカレッジ
介護のお仕事	老人体験及び視覚障がい者体験	150	
医療事務のお仕事	医事コン体験&mini 接遇マナー講座	30	
デザインのお仕事	3DCG体験	65	
子どもと接するお仕事	「こどものおもちゃ作り」と幼稚園教諭・保育士の説明	30	宮崎医療管理専門学校
メイク他に関するお仕事	メイクの体験	40	宮崎サザンビューティ美容専門学校
美容に関するお仕事	ワインディング体験	28	宮崎レディスカレッジ
ファッションに関するお仕事	Tシャツ作り	35	エクセレント・アソシエーション
	ラッピング体験	33	
動物のお仕事	「動物園の飼育員になる前に」	35	宮崎ペットワールド専門学校
食の達人	きれいな三角おにぎりを作ろう	55	都城調理師高等専修学校
公務員のお仕事	公務員の仕事解説と適性試験体験	36	大原簿記公務員専門学校
キャリアアップ講座	職業理解	20	宮崎情報ビジネス専門学校
キャリアアップ講座	職業理解	20	大原簿記公務員専門学校
キャリアアップ講座	職業理解	20	宮崎ペットワールド専門学校
キャリアアップ講座	職業理解	20	宮崎サザンビューティ美容専門学校

3. 秋冬体験プログラム講座一覧

分野	講座名	人数	実施校
美容に関するお仕事	ヘアカットを体験しよう	5	宮崎サザンビューティ美容専門学校
	メイクアップを体験しよう	4	
簿記・経理	日商簿記2・3級対策講座	129	大原簿記公務員専門学校
動物	動物業界に入る前に知っておくべきこと	45	宮崎ペットワールド専門学校
調理	お菓子も料理もスーパーシェフ☆	18	宮崎調理製菓専門学校
美容	ヘアカット、メイクアップ体験	41	宮崎サザンビューティ美容専門学校
公務員	公務員の仕事解説等	41	大原簿記公務員専門学校
保育・福祉	コミュニケーションレクリエーション	35	宮崎福祉医療カレッジ
コンピュータに関するお仕事	CG体験 スカイプ体験	41	宮崎情報ビジネス専門学校

②その他

3. 事業の成果・評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況・評価について

宮崎県において「ワーキングスタディ」は初めての取り組みであり、事業運営活動を5月から開始したが、特に夏季休暇プログラムについては、夏休みまでに時間が無く、しかもHP開設まで手がけてしまったため、多くの高等学校に十分な広報を行うことができなかった。そのため、計画はしたが参加がなかった学校もあり、実施期間を延長し秋冬体験プログラムで再度募集を行うこととなった。

分野別出張講座については、受け入れ側に認知いただければ、スケジュールの調整を密にすることで、受け入れていただけることが可能であることが認識できた。宮崎県郡部から宮崎市までの移動時間が1～2時間かかり経費もそれなりに掛かることを考慮すると高校生・中学生にとってはこちらのプログラムの方がメリットは大きいと言える。夏休みだけではなく冬休み期間や、土・日曜日も利用しながら、高等学校内で出張講座にてきっかけづくりをし、実践的な体験を専修学校の施設を利用して実施するといった連動性をもたせることができれば、よりその効果は上がると推察される。高校生や高等学校の教員からの要望は高く、結果としては、募集期間をかけて集客すれば参加者の確保を行うことができると確信した。

②次年度以降における課題・展開

今回の事業は、文部科学省の委託事業ということで、当連合会だけでなく、宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎県立学校長協会、宮崎県私立中学高等学校校長会、宮崎県高等学校進路指導協議会の全面的な支援を受けることができた。当連合会にとってこのような協力体制の基で事業を推進することは初めてであり、今後の展開につながるものとなった。しかしながら、次年度の文部科学省専修学校関係予算案では「専修学校・高等学校連携等職業教育推進」が削られており、次年度の大きな課題（予算・連携）となった。

専修学校、高等学校の連携により事業を推進し、実施したことが大きな特色ではあるといえ、高等学校側に学生募集の体験入学との受け止めもまだあり、さらに信頼関係の構築が必要であると感じている。

高等学校に多数の学生の参加協力を要請するには、年間スケジュールに組み入れていただくことが必要で、最低でも年度当初にはプログラム内容の提示が必要である。また、配布資料に関しても、事前に仕事の内容をわかりやすく示し、興味を抱かせられるようなパンフレットが必要であろう。

専修学校の専門的な知識や技術を活かしながら、更なる参加生徒の職業意識の涵養を図るために、企業・施設はどのような人から成り立っているのか、また業界の動向などを理解させるために、実際の現場見学等を導入しながら、分かりやすく楽しいカリキュラムを構築し、限られた時間の中で実施し、効果を上げるために、更なるプログラムの工夫が必要である。

次年度に向けて、今回ある程度の実績をあげることができ、高等学校の先生方に事業の主旨をご理解賛同をいただいたのは、当連合会にとってメリットが大きいといえる。